

4歳の発達 は自立の基礎ができた段階、集団生活の準備ができた段階であると考えられます。また、9歳の発達で、基本的な社会生活の準備ができた段階と考えられると言われております。18歳の力を付けなければ、就職できない、自立できないわけではないのです。下にあげた指導課題は、4歳児の50%以上ができてとされている内容です。最初から、この子には無理、難しいとあきらめず、子どもの成長する力を信じて指導・支援しましょう。

＜指導年齢4歳の指導課題＞	
<p>基本的生活習慣</p> <p>献立によって、はし、フォークなどを使い分けることができる 手洗いの動作が正しくできる 手洗いの意味が分かる テーブルを拭くことができる（食事—後片付け） 家族みんなにあいさつができる（両親にはおやすみなさい、兄弟にはおやすみ） チャックのとめはずしができる（排泄—排尿＜男子＞） トイレ用ペーパーを適量使うことができる（排泄—排便） 指示されなくても手を洗うことができる（排泄—手洗い） 洗った後、ハンカチで拭くことができる（排泄—手洗い） 石けんを使って洗うことができる（排泄—手洗い） ボタンのとめはずしが一人でできる 表・裏、前・後をまちがわずに衣服を着ることができる 一人で適当な衣服を着ることができる 立ったまま衣服を着ることができる ワイシャツ、上着をズボンの中に入れることができる チャックやホックのついた衣服を着ることができる ひもやボタンのついた衣服を脱ぐことができる 指示されなくても靴の左右がわかる 汚れた手足を石けんで洗うことができる 汚れた手足をきれいに洗い、拭くことができる 自分で髪をとくことができる ハンカチの用途がわかる ほころびを知らせ、繕ってもらうことができる 紙くずをとるこままわす捨てない</p>	<p>暮らしの技術</p> <p>お金にはいろいろな種類があることがわかる お金が大切なものであることがわかる 銀行や郵便局のことを知っている 三度の食事を規則正しくとることができる 規則正しく睡眠を取ることができる 疲れたときは早く寝ることができる エアコンのスイッチを入れることができる（暑さ、寒さを判断） 休日とそうでない日の区別ができる 正月や水泳の季節がわかる 自分で傘をさすことができる 遊んだりせず歩くことができる 遠足など集団での歩行ができる 歩道があるところは、歩道を歩くことができる 交通量のほとんどない道路を横断することができる 信号のある道路を横断できる 横断歩道がわかる 補助車がついた自転車に乗ることができる 一人で近所に遊びに行くことができる 応答し、取り次ぐことができる（電話—受信） 番号を言えば、プッシュホンの番号を押すことができる 友だちと電話で話すことができる みんなのテーブルにはしを置くことができる ビデオデッキを使うことができる（再生） 学校の友だちと家の中で遊ぶことができる 学校の友だちと外で交流ができる 大人が一緒なら、障害のない子どもと交流ができる 近所の障害のない子どもと楽しく交流ができる 形、色、大きさなどで分類することができる 3までの概念が理解できる 身近にある具体物を数えることができる 丸、四角、三角の形を書くことができる 簡単な指示や説明を聞いて、できるだけその通り行動できる 簡単な伝言や要望などを言うことができる 必要なとき助けを求めることができる ロッカーや靴箱に書いてある自分の名前を読むことができる</p>
<p>集団参加</p> <p>テレビ番組を自分で選んで視聴できる いろいろな遊具を使って遊ぶことができる ぞうきんを使うことができる ほうきを使うことができる ほんの少しの時間なら、一人で留守番ができる 電話の取り次ぎができる 指示をすれば、ごく簡単な役割を遂行できる 指示があれば参加できる 計画は立てられないが、計画に従うことはできる 順番を守って、乗り物の乗り降りができる 指示があれば、それに従って行動できる 乱暴に扱ったり、壊したりしない 順番を守って使うことができる 指示されたら、一人で自分で使った物を後片付けできる 用具を勝手に持ち出さない 指示すれば、「貸してください」が言える 壊れているかいないかがわかる 川など危険なところへ一人で行くことはない 勝手に機械に触らない 指示すれば、簡単な機械のスイッチを入れることができる 道路へ急に飛び出したりしない 道路で遊んではいけないことがわかる 歩道と車道の区別がわかる 横断歩道を渡るときは車が止まってから渡ることができる 目上の人と話することができる 人の物はやたら触ったり、使ったりしない</p>	<p>職業意識</p> <p>物を力いっぱい投げることができる 物を力いっぱい引っ張ることができる かがんだ姿勢でじっとしていることができる 簡易な立ち作業で1時間程度働ける 得意な作業や興味のある作業なら意欲的にできる 明るい（職業態度—協調性） 周りの人と協調できる</p>



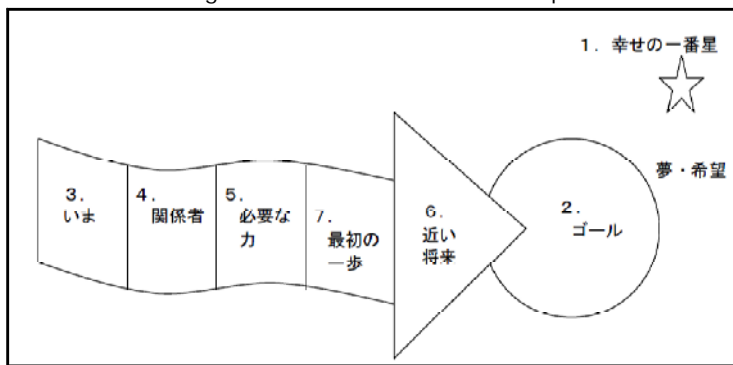
「指導年齢がわかる自立と社会参加を実現する個別の指導プログラム」上岡一世 著より（明治図書）
 ＊2歳から12歳までの指導課題がまとめられており、発達年齢にそった指導内容を考える上で参考になります。

PATH

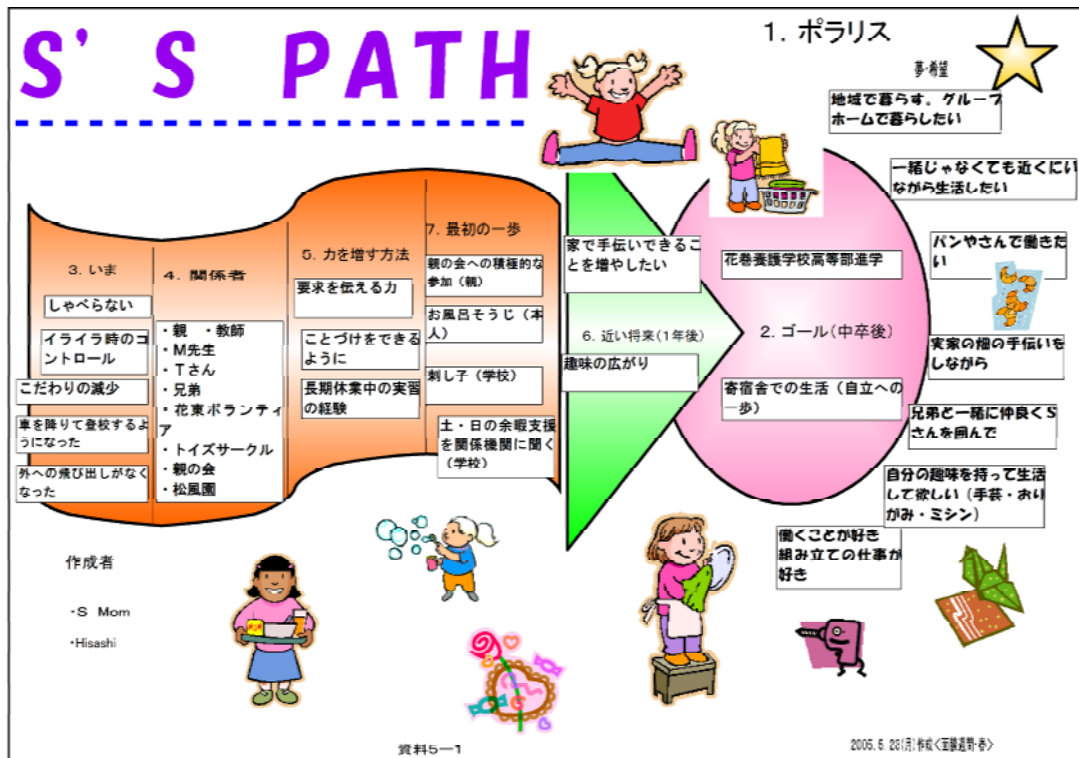
関係者との連携協力・関係を推進するためのPATH(Planning Alternative Tomorrow with Hope: 夢をもってもう一つの明日を計画する)の技法という方法の紹介です。個別の教育支援計画や個別の指導計画を立てる際に、保護者や関係機関と話し合いをもつ時などに有効と思われます。

<ステップ>

PATH Planning Alternative Tomorrow with Hope



S PATH



子ども達にできる家のお手伝いをピックアップしました(120コ)。家族の一員として、その子のできる仕事や役割を家庭の中にしっかりと位置付けることが労働観の育成には大切です。お手伝いのポイントは、子どもにやりきらせることと、ほめる(認める)ことです。最初は手を添えたり、見本を示しながら、徐々に確実にできるようにしていきます。丁寧にやさしく何度でも教えてあげてください。

毎日の活動	朝、カーテンを開ける 夕方、カーテンを閉める 暗くなったら電気をつける 誰もいない部屋の電気を消す 新聞を郵便受けから取ってくる 郵便物を取ってくる 牛乳等の日配品を取ってくる 家族を起こす 日めくりカレンダーをめくる 玄関の靴を並べる ペットの散歩をする ペットにえさや水をあげる	買い物	商品をカートやかごに入れる カートを押したり、かごを持つ 指示された商品をもってくる レジに並ぶ お金を渡す おつりをもらう 買った商品をふくろに入れる 買った商品を車や家まで運ぶ 買った商品を仕分けして片付ける 一人で指示された品物を買ってくる
	食事の準備	テーブル(食卓)をふく テーブルの上を片付ける お箸やスプーンなどを配る おかずやご飯を配る ご飯を茶碗によそう おかずをお皿に盛りつける 牛乳やジュースをコップに注ぐ 「ごはんだよ」と家族に知らせる	掃除
料理	炊飯器のスイッチを入れる 食洗機のスイッチを入れる 電子レンジのあたためボタンをおす 米を磨いで炊飯器で炊く ラップをはずす 食品を袋から出す パンにバターやジャムをぬる ゆでたジャガイモをつぶす レタスなどの野菜や海苔等をちぎる 玉子をわる ゆで玉子のカラをむく 泡立て器や菜箸で混ぜる ハンバーグやコロケのたねをこねる・丸める 「あく」をすくう ナベをかきまぜる 調味料やドレッシングをかける 皮むき器やピーラーで野菜の皮をむく タマネギやバナナの皮をむく 野菜を大きく切る 味噌汁や卵焼き等の簡単な料理を作る 食べた後の食器を流しに運ぶ 自分が食べた食器を洗う 食器をすすぐ 洗った食器をふく 食器を食器棚に入れる 食洗機から食器を取り出す お皿等にラップをかける 冷蔵庫に食品をしまう ふきんをあらう ふきんをほす	家の外の手伝い	庭先や玄関前を掃く 庭の草むしりをする 枯れ草や落ち葉を掃除する 雪かきをする 花壇に水をやる 畑の草取りをする 畑に肥料をまく 畑の石をひろう 野菜等の収穫を手伝う 農作業を手伝う
	洗濯	洗濯物を洗濯かごに入れる ポケットの中のものを取り出す 洗剤を入れる 洗濯機のスイッチを入れる 洗濯物をほす 洗濯物を取り入れる ハンカチやタオルをたたむ 服をたたむ きれいになった洗濯物を仕分けする 洗濯物を引き出し等にしまう	弟妹の世話 その他